【公表の参考様式（管理機関用）】　　別添２

令和８年５月 12 日

令和７年度　特別の教育課程の実施状況等について

富山県

学　校　名	管理機関名	設置者の別
黒部市立清明中学校（外１校）	黒部市教育委員会	公立

１．学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学　校　名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
黒部市立清明中学校	https://www.city.kurobe.toyama.jp/news/detail.aspx?servno=19529
黒部市立明峰中学校	https://www.city.kurobe.toyama.jp/news/detail.aspx?servno=19529

※必要に応じて行を追加すること。

２．学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学　校　名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
黒部市立清明中学校	https://www.city.kurobe.toyama.jp/news/detail.aspx?servno=19529	https://www.city.kurobe.toyama.jp/news/detail.aspx?servno=19529
黒部市立明峰中学校		

※必要に応じて行を追加すること。

３．特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（１）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

・計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

（２）実施状況に関する特記事項

※（１）で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

（３）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

・実施している

・実施していない

＜特記事項＞

３．　実施の効果及び課題

（１）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

　将来を担う生徒に世界語である英語によるコミュニケーション能力を身に付けられるよう、全学年に「英会話科」を設置し、各学校では自他の文化を尊重し、グローバル化に合わせて主体的に対応できる生徒を育てることを教育目標に設定している。ＡＬＴとのティーム・ティーチングを計画的に取り入れ、生徒が積極的に英語でのコミュニケーションをとることができた。

（２）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

　学習指導要領に準じて本市独自に作成した年間指導計画に基づき授業を行っており、英語を用いたコミュニケーション能力の育成及びふるさと黒部を豊かに英語で語れる生徒の育成を目指している。また、アンケートの結果、国際理解や英語の学習に意欲的な生徒が多く見受けられた。

４．課題の改善のための取組の方向性

　引き続き、ＡＬＴとのティーム・ティーチングなどを取り入れ、スピーキングの活動の幅を広げ、生徒が英語に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う取組を推進したい。